

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（営業担当）	・福岡市天神地区では2月に地下鉄新路線の開通及び地下街の拡張があり、来街者の増加が見込まれる。消費は若干上向く見込みである。 ・競争環境が一巡し、客の支持が戻りつつある。
		百貨店（営業企画担当）	
		スーパー（店長）	・衣料品の動きが久しぶりに良くなっている。冬物が処分できたため春物との切替えがうまくいき、婦人、紳士に加え今まで悪かった子供服の動きが非常に良くなっている。やや良くなるとみている。
		家電量販店（経営者）	・展示会やメーカー主催のキャンペーンを予定しており、お買い得な商品が紹介できるので、若干の売上げが見込まれる。
変わらない		一般小売店〔青果〕（店長）	・客の様子として単価の高い商品を買う雰囲気はあまりなく、売り手としてもこれから上向きになるような商材を確保しにくい。変わらないか、少し悪くなるような状況である。
		百貨店（営業担当）	・ここ3か月は前年実績を下回ってきたが、現在は前年実績に届くという良い状況となっている。この傾向がしばらくは続く。
		百貨店（販売促進担当）	・福岡市営地下鉄新路線の開業により集客が見込まれ、景気は多少良くなる可能性がある。しかし、地下鉄の価格はバスに比べ高いため、学生や会社員以外は地下鉄を利用しないのではと読んでいる。消費者の動向は変わらないため、再度景気は悪くなる。
		百貨店（売場担当）	・天候不順の影響が懸念されるが、今のところ購買単価、客単価とも下がっていない。若干来客数に左右されることもあるが、10～11月に経験した悪さはみられないため、衣料品関係の落ち込みがあまりなければ、やや良い方向に行く。
		スーパー（店長）	・来客数、客単価、買上点数がここ数か月ほとんど変わらない。今後もこの傾向が続く。
		スーパー（店長）	・今後も天候に左右されることとなる。また、客数の伸びはあるものの、嗜好品がなかなか売れない状況が出てくる。無駄な買物はしないという状況が続く。
		スーパー（総務担当）	・気温の低下に伴い防寒着等が少しずつ動き出し、売上が少し好調になっている。しかし今まで比較的好調だった食品品については、買上点数が少し減少気味である。この傾向が今後も続く。
		スーパー（経理担当）	・3～4月は前年の総額表示導入による買い控えの反動が見込まれるほか、福岡都市圏でのスーパーマーケットの出店ラッシュも小康状態である。現状が維持される。
		コンビニ（エリア担当）	・現在の状況が改善する見通しは立たない。さらに既存店の近くに競合店の出店が予定されており、売上がかなり下がる可能性がある。
		衣料品専門店（店員）	・最近の客は近隣の方ばかりで、昨年できた郊外大型店に移った客が戻っていない。
		一般レストラン（スタッフ）	・前年に比べ客数が減少している。常連客が減ったようであり、あまり客の増加は見込めない。
		スナック（経営者）	・関東や、愛知万博が開催される中部等と比べ、九州はまだまだ景気が上向いているとは思えない。現状維持の状態が続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・婚礼の予約をみても、あまり改善する見込みがない。
		都市型ホテル（副支配人）	・客との打合せの中ではなかなか景気の良いような話は出ず、2～3年は厳しい状況が続く。
		旅行代理店（従業員）	・学生旅行は出足順調だが、家族旅行は一段と決定が遅くなっている。客のたくさんの情報から商品を選択する傾向がますます強くなっている。
		旅行代理店（業務担当）	・社会保険料負担増等の影響からか、家族旅行の動きが鈍い。
タクシー運転手	・建築・土木関係の客の話では、2～3月の仕事が入っていない客が多いようである。また、安いものを買に行くという客が多く、なかなかタクシーを利用しない。		

	観光名所（職員）	・観光施設については、昨年は2～4月に新幹線開業効果がかなりあったが、今年は特にそういったものもないため、先行きが懸念される。	
	美容室（店長）	・消費者は買物を控えているようで、店の品物も売れなくなった。また、ヘアダイやパーマの間隔も2～3か月延びたようである。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税効果が弱まり、住宅需要が動きそうなネタがない。景気は変わらない。	
やや悪くなる	衣料品専門店（店員）	・福岡市天神地区では、2月2日に地下街が延伸し新店がオープンする。昨年の百貨店新館オープン等で、天神への一局集中が進んでいる。郊外大型店の出店もあるが、これ以上商業施設が増えても売上は上がらない。	
	衣料品専門店（総務担当）	・高級品の単価が下がる傾向にあり、その傾向が今後も続く。	
	住関連専門店（経営者）	・婚礼家具や新築家具等の動きは依然として厳しい。輸入品の比率が高く、客単価は下がっており、見通しは厳しい。	
	高級レストラン（専務）	・鹿児島は昨年は九州新幹線開業効果で少し良かったが、現在は鹿児島県だけでなく九州全体が落ち込んでいるようである。	
	タクシー運転手	・買物客がかなり減り、下げ止まりの気配が全くない。客の数よりもタクシーの台数の方が多い状況である。また、客の財布のひももかなり固い。	
	テーマパーク（職員）	・旧正月とスポーツキャンプに連動する時期は例年並みの動きである。ただし、2～4月の一般旅行の動きが鈍い。	
悪くなる	スーパー（店長）	・生活不安、家計負担が多いということから、客の購買は不要なものは買わない等、節約する風潮が出ている。	
	コンビニ（販売促進担当）	・昨年は新幹線開業効果から鹿児島に150万人も来たが、今年は、例年であれば1月の2週目まで売れないのが、それを上回って売れない。景気の不透明さもあるが、これから何か月かは売上は上がってこない。	
	衣料品専門店（店長）	・1～2月は例年売上が減少する月であるため冬物一掃バーゲンをかけるが、今年は全く盛り上がらない。郊外大型店に客が流れているようである。商店街に近接する食品スーパーもついに閉店し、最寄りの買場を失った客はますます商店街に寄り付かなくなる。	
企業動向関連	良くなる		
	やや良くなる	家具製造業（従業員）	・2～3月の物件情報は、過去の実績に比べかなり多い。特に3月度の物件情報は官公庁の入札物件も含み大変多い状況である。
		精密機械器具製造業（経営者）	・ロボット関係の仕事が多いほか、関連する新製品の開発等の仕事が増えている。
		建設業（総務担当）	・鹿児島はマンションの建設ラッシュがあと2～3年続く。このブームが続く限り、将来の展望は開ける。
		広告代理店（従業員）	・10月以降、受注額が前年を上回る月が続き、しかも伸び率が徐々に上向いている。今月の受注額は前年比110%と2けたの伸びを示している。感触としては、今後この伸び率は変わらない。
変わらない	輸送業（従業員）	・12月は暖冬の影響を受け取扱量は低迷したが、1月に寒さが戻り、取扱量も前年比2%増で推移した。今後も取扱量は微増で推移すると予測するが、運賃単価の低迷は相変わらずであり、利益は前年並みに推移する。	
	輸送業（従業員）	・以前は良く売れていた商品でも、今の消費者は品質に対して敏感になり、クレームが入るとすぐその商品が売れなくなってしまう。そのためプロモーション等キャンペーンをする予算もなくなり、メーカーが運賃や保管料等、物流費を削減する動きがみられている。この傾向が今後も続く。	
	輸送業（総務担当）	・冬物衣料品が大量に残ってしまった。代わりとして良くなるようなものが今のところ見当たらない。この状況がしばらく続く。	
	広告代理店（従業員）	・3月に毎年恒例の企画を実施するが、セールス状況が例年に比べ苦戦している。現在の悪い傾向が今後も続く。	
やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・3月に開催される愛知万博の影響で、南九州への観光客の減少が予測される。どの程度売上に影響するかは不明であるが、6か月間続きそうであり、大きな懸念材料である。	
	建設業（従業員）	・官民共に入札の数が少ない。また競争会社が多すぎてなかなか受注することも難しい。受注が取れても利益確保が困難である。	

	悪くなる	電気機械器具製造業 (経営者)	・大手ユーザーに新年のあいさつに行ったが、ほとんどの大手企業が3～6月にかけての動きが不透明という状況である。良くなるのは7月以降という見通しなので、この3か月くらいは非常に悪い状況が続く。
		経営コンサルタント	・大手の酒類量販店が2件ほど民事再生法を受けることになった。悪い状況にある。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社(社員)	・企業側が積極的に雇用を行っているのは事実である。ただ、求める人物像も高く、雇用のミスマッチが多くある。
		民間職業紹介機関(職員)	・各種エンジニアの採用枠が増加傾向にあり、今後も期待ができる。また、中高年層を対象とする幹部クラスのオーダーも続き、若干ではあるが需要と供給のバランスが良くなってきた。
	変わらない	職業安定所(職員)	・非正社員化が進んでおり、安定した雇用需要につながっていない。
		職業安定所(職員)	・造船以外は、景気が良くなっているという感じが出てきていない。また、若干リストラも出てきている。
やや悪くなる			
	悪くなる	-	-